

「空の鳥、野の花」通信

菅原早樹・活動レポート No. 03 2012年6月

昨年、2回の「空の鳥、野の花」通信を発行させていただきましたが、その後、気がつけばなんと半年近くも時間が過ぎてしまいました。

なんと、時の過ぎゆくのは早いのでしょうか。

その間、わたしは比較的ゆっくりと過ごさせていたが、1月には吹田聖書福音教会で、姉・露のききょうと共に3回のご奉仕をさせていただき、2月には日本長老教会の四日市キリスト教会でやはり姉と共にご奉仕をさせていただきました。

吹田聖書福音教会では、予定していた他にも急遽アンコールとして、1曲賛美曲をリクエストいただきとても嬉しかったです。

また四日市キリスト教会では、子供さん達もたくさん参加してくださり、中でもY君という男の子は2日間いつも真ん前に陣取って、姉の落語もわたしの賛美もとても良く聞いてくれ、二日ともプログラムにサインをさせていただきました。

そして、帰りに、わたし達が見えなくなるまで、車を追いかけて手を振りながら見送ってくれ（最後には転びそうになるほど一生懸命に！）て、本当にびっくりしました。まるでドラマのワンシーンのようで、ちょっぴり感動してしまいました。



四日市キリスト教会にて

3月4月は、これからの働きのための準備の期間となりました。

その中で4月には一つ、嬉しい事がありました。

とても個人的なことですが、わたしの娘がバプテスマ（洗礼）を受けさせていただくことができたのです。

以前から、「バプテスマを受けたい」という気持ちはありましたが、なかなか決心がつかなかったところ、学校で二分の一成式というのをしたことをきっかけ

に、人生の一区切りの記念に、バプテスマを受けることを決心できたのでした。

子供の純粋な信仰に、親であるわたし達も、もう一度色々なことを考えさせられ、教えられたひと時でした。

当初5月に予定していた2ndアルバムのレコーディングは、様々なことがあって7月に延期となりました。

しかしながら、この延期のひと時も、わたしにとってはとても貴重な時間で、この間に、祈りつつ、何度も収録曲について考え直し、選び直し、準備をすることができました。

いよいよ6月から、具体的なレコーディングの準備に入り、7月にはレコーディングする予定です。

この度のアルバムは、前作よりもさらに「寄り添う」ことをテーマとしています。

2011年3月11日の東日本大震災が直接的なきっかけではありましたが、それだけでなく、今、日本中を覆っている痛み、困難、・・・それらのことに対して何をしたらいいのか、何ができるのか・・・答えをもたないわたしですが、せめて、賛美を通して、歌を通して、寄り添うことができれば、と願っています。

今度のCDには、讃美歌、聖歌以外の一般的な曲も収録予定です。さて、どんな曲が収録されるのか・・・皆様お楽しみに。

6月のご奉仕予定としては、14日に、キリスト兄弟団の名古屋教会のレディースランチオンで、午前・午後、2回のご奉仕をさせていただきます。

1回1時間15分というのはとてもありがたいのですが、1日に、同じお客様に合計2時間半も聞いて頂けるものがわたしにあるのか？ちょっぴり心配です。

もちろん、お話の時間も十分取らせていただきますが・・・。

どうぞ祝福をお祈りいただければ幸いです。

伝道賛美家 菅原早樹

※今後、できるだけ『空の鳥、野の花』通信を、E-mailで送らせていただければ感謝です。E-mailでの受信が可能な方は<<sanbi_sunny@yahoo.co.jp>>までお知らせいただければ幸いです。宜しくお願い致します。